ボーリング柱状図

調　査　名	金屑川地質調査業務委託
事業・工事名	平成25年度都市基盤

ボーリングNo 1

シートNo 1

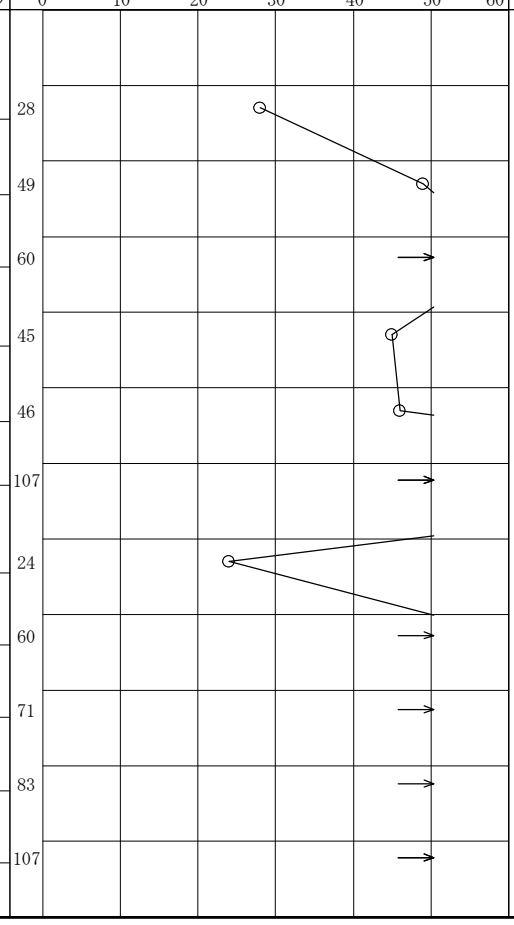
ボーリング名	No.1	調査位置	福岡県福岡市早良区田村4丁目～田隈3丁目					北緯	33° 32' 26.4"
発注機関	福岡市道路下水道局　建設部河川課			調査期間	平成 25年 11月 2日 ～ 25年 11月 8日			東経	130° 20' 14.7"
調査業者名	九研地質株式会社 電話（092-271-4027）	主任技師	野口　晃	現場代理人	山之内　洋伸	コア鑑定者	山之内　洋伸	ボーリング責任者	瀬戸　健一郎
孔口標高	14.879m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	
総掘進長	11.29m								

試錐機	YBM-05	ハンマー落下用具	半自動
エンジン	NFAD-8	ポンプ	GP-5

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
	14.58	0.30	0.30		礫混じり砂	褐			細～中砂主体。 礫はφ2～5mmの花崗岩亜円礫主体。 （最大φ30mm）	
	14.18	0.40	0.70		シルト	青灰			軟らかく、指圧にて容易に指が貫入するシルト。 粘性中。含水小。	
1										
2										
3										
4					砂礫	褐灰		密な～非常に密な	河床堆積物。 細～中砂主体。 礫はφ2～40mmの花崗岩亜円礫主体。 3.40m付近にφ10cm程度の玉石を混入する。	11/5
5										
6										
	7.98	6.20	6.90							
7					強風化花崗岩	緑灰		中ぐらい～非常に密な	軟岩質で軟岩DCにてコア形を保ち採取される。 風化が著しく、指圧にてシルト状に砕ける。 基岩組織不明瞭。	
	6.88	1.10	8.00							
8										
9					風化花崗岩	褐灰		非常に密な	軟岩質で軟岩DCにてコア形を保ち採取される。 風化が進み、指圧にて砂状に砕ける。 基岩組織残留。 岩級区分はCL級でRQDはほぼ10cm以下で0である。	11/6
10										
11										11/7
	3.59	3.29	11.29							

標準貫入試験

深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	8	10	10	28/30	28
2.15	16	16	17	49/30	49
3.15	17	12	21/5	50/25	60
4.15	9	11	25	45/30	45
5.15	9	16	21	46/30	46
6.15	38	12/4		50/14	107
7.15	5	7	12	24/30	24
8.15	16	20	14/5	50/25	60
9.15	17	28	5/1	50/21	71
10.15	25	25/8		50/18	83
11.15	31	19/4		50/14	107
11.29					



原位置試験 深度(m)	試験名および結果	試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日

・本資料は、工事等により現況と整合しない場合があり、現在の位置関係や地質状況などを特定するものではありません。
・本資料は、参考データとして利用し、現在の地質状況は、再度ボーリングを行う等して確認をお願いします。